

◎汐鳴祭文化の部を終えて◎

10月15日(土)汐鳴祭文化の部が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に令和2年度からできなかった合唱を復活させ、スタンドグラス制作と併せ、できる限り従来の形に近づける工夫を試みました。

マスクを着用したままの合唱は、課題曲と自由曲を歌うコンクール形式とはらずに各クラス1曲の発表としました。1人ひとりの緊張感みなぎる真剣なまなざしが、美しいハーモニーと歌詞から伝わる情景と相まって、心が震えるほどの感動を与えてくれました。

スタンドグラスは、3年生は先輩たちが築いてきた方法で、代々残されてきたセロファンを貼り合わせて手際よく制作に取り組んでいました。1、2年生は自分たちの手で苦戦しながら各色に染めあげた和紙を用いて、和紙ならではの風合い趣のある作品を仕上げました。



1 白い和紙を染める



2 しばらく干す



3 切り抜いた型に合わせて
和紙を貼る

ひと頃昔は、セロファンにはない微妙な色合いを出すために、買い物で簡単に手に入った様々な色のビニール袋を年間かけて集めたものです。処理の仕方等も含め、環境に優しい持続可能な作品づくりという観点で和紙を用いた新しいスタイルに。

合唱やスタンドグラス制作という大きな作品を皆の力を結集して作り上げるという、二宮中学校の長年の伝統が途絶えることなく受け継がれたことに感謝しながら、文化の部の幕を無事に下ろすことができました。

保護者の皆様におかれましては、感染症対策のために多々ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

また当日の運営には、PTA役員、学校運営協議会委員や地域のボランティアの方々にもご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。

その後は感染者が出ることもなく、通常の学校生活を再開することができ、ほっとしています。



水色組「日本の風景」(1年生)



オレンジ組「お祭り」(2年生)

汐鳴祭体育の部の学年縦割り色ごとにテーマを決めて各クラスで制作したスタンドグラス。窓枠に飾られた作品を目にすると下絵を考えた夏から、やっと完成させた前日までの様々な光景が合唱曲と共によみがえり、胸が熱くなります。



ピンク組「物語」(3年生)

◎とある社会科の授業風景◎

10月20日(木)神奈川県弁護士会法教育センターによる出前授業が3年生社会科で実施されました。

「司法制度、裁判制度及び弁護士の仕事」というテーマで裁判の歴史や弁護士になる方法等も含め、興味深いお話を弁護士の方からうかがい、司法について学びました。



また選挙制度の学習では、二宮町選挙管理委員会より借用した本物の投票箱を用いて、教室で模擬選挙を行いました。投票用紙を受けとることから始め、緊張した面持ちで投票する真剣な姿に、教科担当が感心していました。

タブレット端末の活用と併せ、本物に触れる機会を大切に授業づくりを心掛けたいと思います。